

数学科 2年

連立方程式の解き方

担当 石村 成葉

【活動の目標】

図を使って果物の値段の求め方を伝える活動を通して、連立方程式の解き方を理解することができる。

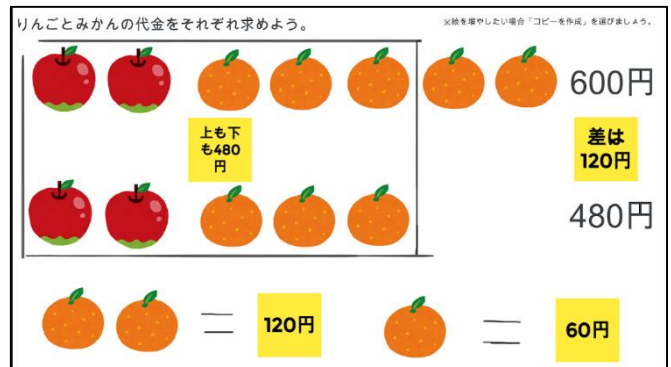
【 問 い 】

- ・果物の値段を求めるという場面設定
- ・図を使って、果物の値段の求め方を伝える活動

今回 ICT を活用した場面	従来 の活動
C1 発表や話し合い ・Jamboard を活用して、リンゴとミカンの値段をどのようにして求めたかをペアで説明した。 ・提出されたフレームを見ながら、学級で意見共有を行った。	印刷したプリントに考え方をかき込む。 黒板に貼ったリンゴとミカンの写真を動かして、1人が全体に発表する。

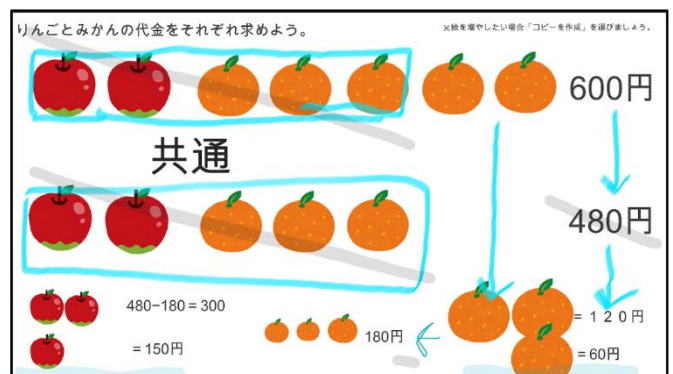
【資料】(左上) 生徒に配布した元のフレーム

(右上)・(右下) 生徒が作成したフレーム



【ICT 機器を活用する良さ】

- 生徒が1人1人、絵を手元で操作することにより、計算式にする前に、連立方程式を解く考え方を感覚的につかむことができる。
- 説明に必要な絵や文章をすぐに増やしたり消したりすることができ、意見をまとめやすい。
- 全体に発表するときテレビ画面に映すので、すぐに共有することができる。



【改善すべき点と原因および改善案】

- ・時間設定を適切に行う。

⇒Jamboard に取り組む時間、ペアで発表する時間、全体で発表を聞く時間などについて、適切な時間設定を行うようにする。